



おかむら通信第 97 号

平成 25 年 5 月

みなさま、お元気ですか？ 5月に入り、まだまだ世の中は何かと安定、不定の波の狭間で、揺れているように見えます。皆様も、しっかりと、根をはって、流されないようにがんばってください。自分を見失わないように。

院長より

*当院の体制について質問がありましたので。

学会、勉強会、ドクターツアーなどにおいて、お休みをすることがありますが、基本的に院長の外来（月・火・水の全日、金午後、土午前）は変更がありません。

*以下のように、6月中旬の韓国釜山渡航予定があります。

患者さんへ

① 来る6月中旬 14/（金）15/（土）16/（日）の3日間

院長がお隣の韓国へ親善と国際交流及び進んだ医療のICT化について勉強に行ってきます。14/は午前・午後 岡村庸介先生、15/は午前 佐藤雅彦先生に代診をしていただきます。皆さまよろしく、お願いいたします。

② 同じ専門でありながら、同じ疾患への診療方針などにおいて

微妙なずれが最近、医師のあいだに見受けられます。何が本当か混乱され、患者さんもさぞお困りでしょうが、一番いいのは信頼できる先生と真っ直ぐに付き合うのがよいと思います。

患者さんには、例えば、高齢・若年・アレルギーあるなし・食生活などの生活環境・精神状態・経済環境・仕事内容の濃さ・過重労働・家庭環境などの諸事情が有り、医師の指導通りに実行できない方に対しては、医師が対策として別の指導をする場合があります。

一方、巷の情報に操られてお互いに分かり合えない場合もありますね。しかし、多少意見の行き違いがあっても、お互いの信頼関係を保つ努力をし、一緒に病気を共有し頑張った後に、奇跡的な効果が出る時も少なくありません。

③ 血圧の薬を飲む理由について 血圧が安定すると、すぐに薬をやめて良いか？とお尋ねになる方が、いらっしやいます。



しかし、血圧の変化に自覚症状があまり出ないことも多く、突然、脳溢血になったり、心筋梗塞を発症したりして長らく入院されたり不本意にも半身不随になったりするのを避けたいと思いませんか？

- ④ 飲む薬の量について　もちろん、当院では極力、薬の数は減らしてゆく方針で、患者さんの言われるままにお薬をお出しすることはできかねます。薬剤は増えれば増えるほど、やがて副作用が出てくるようになります。年齢が高くなればこの傾向が強くなりますので、注意が必要です。
- ⑤ 肥満な方の不利な点　糖尿病・高血圧・発がんしやすい・血管が損なわれやすい、などがあります。また内臓脂肪が増えてきますので、逆流性食道炎・腸管の攣縮などによる腹痛・便秘・下痢を起こしやすくなります。更に呼吸器疾患の悪化・呼吸障害・無呼吸症候群になりやすい、などもあげられます。もちろん良い点もありますが、…
- ⑥ 「突発性難聴」の治療　に星状神経節ブロックを。
- ⑦ 帯状疱疹は　顔面・頸部・胸部背部・腹部・臀部・下肢などへ出現します。激痛が始まったら、早めの神経ブロックをされるとよろしいと思います。部位により、星状神経節ブロック、胸部硬膜外神経ブロック、腹部硬膜外神経ブロックなどが著効することがあります。

4月の活動紹介

/09 (火) 松戸市医師会乳がん検診部会　検診受診表などの改善について市と協議を予定

/10 (水) 松戸市医師会ホームページ委員会　HPの改良などについて

/12 (金) Mr. Sanjay と 懇談

/16 (火) イギリスへの奨学生と懇談

/23 (火) 松戸市医師会定例理事会



今月の担当は古谷です。



新緑の美しい さわやかな季節になりましたね。

しかし… 私の住んでいるマンションは 修繕工事が始まり、連休中は ベランダの物の整理と部屋の片付けで大忙し。しばらくは洗濯物も外に干せないのだ、天気の良い日は残念な気分になります…

